

第二次宗像市環境基本計画（中間見直し）
進捗評価報告書について（案）

令和6年7月
宗 像 市

目 次

1. 環境基本計画の概要と進捗評価の目的	1
(1) 計画の概要	1
(2) 進捗評価の目的	3
2. 評価手順	4
3. 評価の方法	5
(1) 計画指標と目標値の進捗状況・評価について	5
(2) 施策の評価について	6
(3) 評価方法	6
4. 計画指標と目標値の進捗状況・評価	12
(1) 計画指標と目標値の進捗状況・評価	12
(2) 施策の評価	13

【参考資料】 取り組み事業評価票

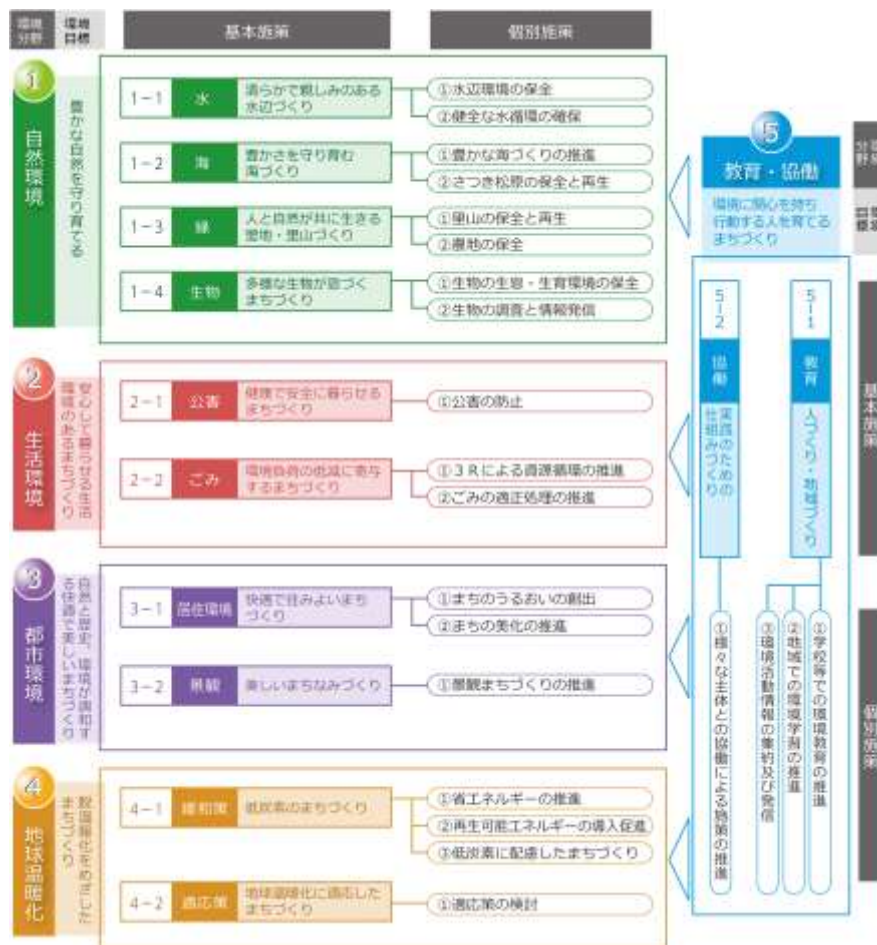
1. 計画の概要と進捗評価の目的

(1) 計画の概要

宗像市環境基本計画（中間見直し）（以下「環境基本計画」という。）は、宗像市環境基本条例（平成15年宗像市条例第100号）第7条に基づき策定する計画であり、条例では環境の保全についての基本理念、市の施策を策定する際の基本方針等を定めているもので、環境基本計画はその基本理念の実現を図るための取り組みや推進体制を定めるものです。

環境基本計画では国連で採択された SDGs（持続可能な開発目標）の考え方を取り入れ、環境保全、経済の発展及び社会的課題の解決が図られた持続可能な社会を目指す計画です。本計画では『豊かな自然と歴史を活かし、ともに生きるまち宗像』を目指す環境像として、「自然環境」、「生活環境」、「都市環境」、「地球温暖化」の4つの環境分野と、「教育・協働」の1分野を加えた5つの分野に分け、分野ごとに環境目標を掲げ、取組の方向性を示すとともに、施策体系を整理しています。

【参考】：環境基本計画の施策体系と関係する SDGs のゴール

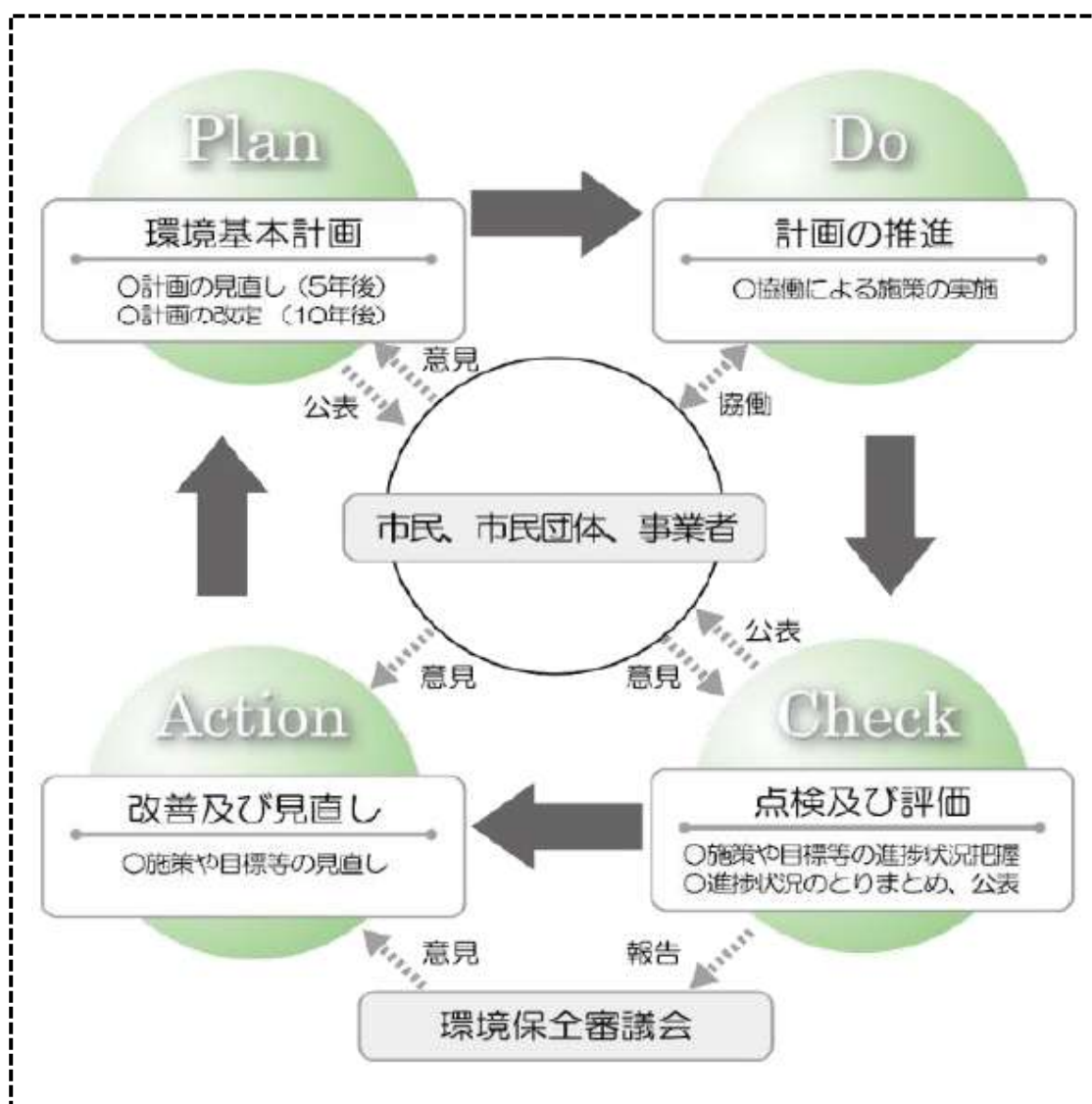




(2) 進捗評価の目的

進捗評価の目的は、環境基本計画の実行性を確保し、同計画を着実に推進していくために、各分野の環境目標及び指標、基本施策、個別事業の取組状況を定量的、定性的に点検及び評価を行うものです。これは、「計画(Plan)→実行(Do)→評価(Check)→改善(Action)」のPDCAサイクルに沿って実施することとしています。

【参考】：計画の推進体制及び進行管理（環境基本計画 P.85）



2. 評価手順

環境基本計画に基づき、以下の評価方法・手順により実施します。

①年度ごとの評価の実施

基本計画内の取り組み事業を担当する課において、進捗評価票（別紙）等、定められた方法に基づき、毎年度評価を実施。

②施策や目標等の点検・評価

①の評価に基づき、事務局が関係各課と調整し、計画の進捗状況について点検・評価を行います。

③環境保全審議会に報告

計画の進捗状況の点検及び評価結果については、宗像市環境保全審議会に報告し、意見をいただきます。

④報告の公表及び意見の収集

計画の進捗状況の点検、評価結果について、ホームページ等で公表し、市民、市民団体、事業者から意見を収集できるようにします。

⑤施策や目標等の見直し

意見や評価を踏まえて、必要に応じ、施策や指標値等の設定、見直しを行います。

⑥取り組み事業の実施

3. 評価の方法について

(1) 計画指標と目標値の進捗状況・評価について

基本計画で設定した計画目標及び目標値については、年度ごとの達成状況を確認します(一部年度ごとに確認できないものを除く。)

【参考】数値目標の進捗状況

分野	計画指標	基準値 (基準年)	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	目標値 (目標年)
自然環境	川や池、海の水のきれいさに満足する市民の割合※ ¹	44.8% (H28 年度)	—	—	—	—	46.4%	58.0% (R9 年度)
	水や水辺のふれあいに満足する市民の割合※ ¹	33.9% (H28 年度)	—	—	—	—	39.9%	51.0% (R9 年度)
	自然景観の美しさに満足する市民の割合※ ¹	63.8% (H28 年度)	—	—	—	—	64.3%	73.0% (R9 年度)
	緑とのふれあいに満足する市民の割合※ ¹	59.4% (H28 年度)	—	—	—	—	60.2%	70.0% (R9 年度)
	生物多様性について知っているまたは聞いたことがある市民の割合	54.6% (H28 年度)	—	—	—	—	—	70.0% (R9 年度)
	野鳥や昆虫等とのふれあいに満足する市民の割合※ ¹	46.8% (H28 年度)	—	—	—	—	51.4%	64.0% (R9 年度)
生活環境	環境基準達成率(釣川水質調査BOD)	100% (H28 年度)	100%	50%	100%	—	—	100% (R9 年度)
	環境基準達成率(道路騒音)	100% (H28 年度)	100%	100%	100%	—	—	100% (R9 年度)
	リサイクル率※ ²	25.9% (H27 年度)	26.2%	24.7%	24.4%	24.3%	—	30.2% (R6 年度)
	ごみ総排出量※ ²	32,350t (H27 年度)	31,195t	31,197t	30,329t	29,500t	—	28,423t (R6 年度)
都市環境	公園や野外レクリエーション地の充実に満足する市民の割合※ ¹	45.7% (H28 年度)	—	—	—	—	46.7%	58.0% (R9 年度)
	ボイ捨てなどの散乱ごみの少なさに満足する市民の割合※ ¹	35.0% (H28 年度)	—	—	—	—	47.8%	47.0% (R9 年度)
	ペットの飼いがよいと感じる市民の割合※ ¹	32.0% (H28 年度)	—	—	—	—	42.5%	45.0% (R9 年度)
	まちなみが整っていると感じている市民の割合※ ¹	53.0% (H28 年度)	—	—	—	—	51.9%	67.0% (R9 年度)
	海・山・川などの自然景観を貴重な財産として感じている市民の割合※ ¹	92.0% (H28 年度)	—	—	—	—	—	95.0% (R9 年度)
地球温暖化	市内の温室効果ガス総排出量【計画目標年度】	560,626t-CO ₂ (2013 年度)	379,491 t-CO ₂	379,052 t-CO ₂	—	—	—	323,551t-CO ₂ (2027 年度)
	市民1人あたりの二酸化炭素排出量【計画目標年度】	5.63t-CO ₂ (2013 年度)	3.72 t-CO ₂	3.62 t-CO ₂	—	—	—	4.56t-CO ₂ (2027 年度)
教育・協働	学校授業での環境講座受講者数	1,183 人 (H28 年度)	1,608 人	921 人	753 人	703 人	—	1,800 人 (R9 年度)
	環境リーダー講座を受講した市民の数	55 人 (H28 年度)	23 人	未実施	未実施	未実施	—	—
	より良い環境づくりのための市民活動に参加協力した市民の割合	36.3% (H28 年度)	—	—	—	—	36.3%	65% (R9 年度)

※¹ 市民の満足度の現況値は「かなり満足」と「やや満足」と回答した人の割合で、目標値は市民アンケート調査(平成 28 年度)で「やや不満」と回答した市民の半数が満足すると仮定した割合(小数点以下四捨五入)

※² ごみ総排出量は市民協働環境部環境課資料、リサイクル率は一般廃棄物処理事業実態調査(環境省)より整理。

(2) 施策の評価について

基本計画の基本・個別施策の評価については、まず各取り組み事業について評価を行います。評価は取り組み事業担当課が、進捗評価票に以下の記載することにより評価を行うこととします。

- ①実績値
- ②実施状況
- ③今後の取組、課題
- ④その他（取り組み事業の実施によって派生した効果や影響など）

(3) 評価方法

①取り組み事業毎の評価

取り組み事業毎に、5段階で評価します。評価基準は以下の表のとおりです。

（事業の評価）

区分	評価
A	実績値が目標値を達成している又は上回っている
B	目標値には達成していないが改善がみられる、又は現状維持
C	目標値に向けたペースを下回っており、改善もみられない
D	未着手、年度内事業なし
－	数値が把握できないため判定不能

※数値目標等が設定されていないものについては、事業の実施状況等を踏まえ、施策の進捗状況を総合的に判断する。

②個別施策（施策の柱）の評価

個別施策（施策の柱）の評価は、個別施策の各取り組み事業の①評価をそれぞれA=3点、B=2点、C=1点とし、平均点により評価する（D、－は計算に入れない。）。

平均点	評価
2.5以上	順調に進捗している
1.5以上2.5未満	概ね順調に進捗している
1.5未満	進捗が遅れている、見直し等の検討が必要

4. 計画指標と目標値の進捗状況・評価について

(1) 計画指標と目標値の進捗状況・評価

基本計画で設定した計画指標の、令和5年度の進捗状況は以下となっています。この現状を踏まえ、今後の取り組みを進めていきます。

※進捗状況の評価は、↑＝順調に進捗している、↓＝進捗が遅れている、－＝数値が把握できないため判定不能、として評価する。

分野	計画指標	基準値 (基準年)	R4 年度	R5 年度	目標値 (目標年)	進捗状況の 評価
自然環境	川や池、海の水のきれいさに満足する市民の割合※1	44.8% (H28 年度)	46.4%	－	58.0% (R9 年度)	－
	水や水辺のふれあいに満足する市民の割合※1	33.9% (H28 年度)	39.9%	－	51.0% (R9 年度)	－
	自然景観の美しさに満足する市民の割合※1	63.8% (H28 年度)	64.3%	－	73.0% (R9 年度)	－
	緑とのふれあいに満足する市民の割合※1	59.4% (H28 年度)	60.2%	－	70.0% (R9 年度)	－
	生物多様性について知っているまたは聞いたことがある市民の割合	54.6% (H28 年度)	－	－	70.0% (R9 年度)	－
	野鳥や昆虫等とのふれあいに満足する市民の割合※1	46.8% (H28 年度)	51.4%	－	64.0% (R9 年度)	－
生活環境	環境基準達成率(釣川水質調査BOD)	100% (H28 年度)	－	－	100% (R9 年度)	－
	環境基準達成率(道路騒音)	100% (H28 年度)	78.4%	100%	100% (R9 年度)	↑
	リサイクル率※2	25.9% (H27 年度)	23.8%	22.7%	30.2% (R6 年度)	↓
	ごみ総排出量※2	32,350t (H27 年度)	29,612t	28,460t	28,423t (R6 年度)	↑
都市環境	公園や野外レクリエーション地の充実に満足する市民の割合※1	45.7% (H28 年度)	46.7%	－	58.0% (R9 年度)	－
	ポイ捨てなどの散乱ごみの少なさに満足する市民の割合※1	35.0% (H28 年度)	47.8%	－	47.0% (R9 年度)	－
	ペットの飼い方がよいと感じる市民の割合※1	32.0% (H28 年度)	42.5%	－	45.0% (R9 年度)	－
	まちなみが整っていると感じている市民の割合※1	53.0% (H28 年度)	51.9%	－	67.0% (R9 年度)	－
	海・山・川などの自然景観を貴重な財産として感じている市民の割合※1	92.0% (H28 年度)	－	－	95.0% (R9 年度)	－
地球温暖化	市内の温室効果ガス総排出量【計画目標年度】	560,626t-CO ₂ (2013 年度)	(R2 年度 380,000 t-CO ₂)	(R3 年度 367,000 t-CO ₂)	323,551t-CO ₂ (2027 年度)	↑
	市民1人あたりの二酸化炭素排出量【計画目標年度】	5.63t-CO ₂ (2013 年度)	－	－	4.56t-CO ₂ (2027 年度)	－
教育・協働	学校授業での環境講座受講者数	1,183 人 (H28 年度)	1013 人	1182 人	1,800 人 (R9 年度)	↑
	環境リーダー講座を受講した市民の数	55 人 (H28 年度)	－	－	－	－
	より良い環境づくりのための市民活動に参加協力した市民の割合	36.3% (H28 年度)	36.3%	－	65% (R9 年度)	－

※1 市民の満足度の現況値は「かなり満足」と「やや満足」と回答した人の割合で、目標値は市民アンケート調査(平成28年度)で「やや不満」と回答した市民の半数が満足すると仮定した割合(小数点以下四捨五入)

※2 ごみ総排出量は市民協働環境部環境課資料、リサイクル率は一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）より整理。

(2) 計画指標と目標値の進捗状況・評価

■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
水辺環境の 保全	河川美化活動事業（釣川クリーン作戦等）	B（2点）	2.3点 （概ね順調 に進捗して いる）
	環境教育推進事業（水辺の生き物観察会、水辺教室等）	A（3点）	
	ホタルの生育状況調査と市民啓発	B（2点）	
	水源林や里地・里山の適切な保全と管理	B（2点）	
健全な水循環の確保	家庭・事業所における排水処理に関する意識啓発	A（3点）	2.6点 （順調に進 捗してい る）
	釣川の水質検査の実施	A（3点）	
	上下水道施設における適切な水処理の実施	B（2点）	
	合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる補助の実施	B（2点）	
	県と連携した河川改修及び適正な維持管理の実施	A（3点）	
	浸水地域の雨水排水路の整備と適正な維持管理	—	
豊かな海づくりの推進	漁場環境の整備・再生	C（1点）	2.2点 （概ね順調 に進捗して いる）
	市民や事業者との協働による海岸清掃活動や海洋ごみ回収活動の推進	B（2点）	
	森林と河川の適切な管理・保全	B（2点）	
	海岸漂着ごみの回収体制の充実	A（3点）	
	新たな海洋環境問題に関する情報収集と対応	A（3点）	
	宗像市における OECM 認証制度（生物多様性の保全を継続的に見込める方法で維持管理されている特定の地域）導入可能性検討のための情報収集	—	
	ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成	B（2点）	
さつき松原の保全と再生	県との連携による松くい虫防除事業の実施	B（2点）	2.5点 （順調に進 捗してい る）

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
里山の保全 と再生	荒廃した森林の再生	A (3点)	3点 (順調に進 捗してい る)
	森づくり活動の推進	—	
	森林の有する公益的機能の発揮に向けた取り組み	—	
	荒廃竹林対策	—	
農地の保全	農業資源の保全活動の支援	A (3点)	3点 (順調に進 捗してい る)
	遊休農地の適正な利用推進	—	
	後継者の育成	—	
生物の生 息・生育環 境の保全	ホタルの繁殖活動及び飛翔状況に関する調査・情 報提供	B (2点)	2.7点 (順調に進 捗してい る)
	カノコユリに関する繁殖普及活動及び情報提供	B (3点)	
	有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進	A (3点)	
	希少野生動植物種の保全	D (-)	
生物の調査 と情報発信	自然環境調査の実施	D (-)	3点 (順調に進 捗してい る)
	自然観察会や体験学習会の開催	A (3点)	
公害の防止	PM2.5 や光化学オキシダントに関する市民への 情報提供の充実及び警報・注意報発令時における 迅速な対応	D (-)	2.1点 (概ね 順調に進捗 している)
	屋外におけるごみの焼却(野焼き)等への指導	B (2点)	
	次世代自動車などの低公害車の普及に向けた情報 提供	—	
	公共交通機関の利用促進	B (2点)	
	釣川の水質検査の実施	A (3点)	
	市民、事業所、関係機関と連携した釣川の水質保全 の取り組みの推進	B (2点)	
	家庭・事業所における適切な排水処理に関する意 識啓発	B (2点)	
	市内主要道路6路線における自動車騒音監視	A (3点)	
	生活騒音に関する住民への啓発	B (2点)	

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
公害の防止	発生源の適切な調査・指導の実施	B(2点)	2.1点 (概ね順調に 進捗してい る)
	苦情相談体制の充実	C(1点)	
	家庭用農薬、殺虫剤などの適正使用に関する啓発	B(2点)	
	本市管理施設における「宗像市管理施設における化学物質使用に関するガイドライン」の遵守	B(2点)	
3R による資源循環の推進	分かりやすい情報提供と充実した啓発活動による3Rの推進	C(1点)	1.8点 (概ね順調に 進捗してい る)
	ごみの分別・排出ルールの徹底	B(2点)	
	食品ロス対策の推進	A(3点)	
	生ごみ減量の取り組み推進	B(2点)	
	事業所への減量化等計画書に基づく指導	C(1点)	
	事業系ごみの減量化・資源化の推進	C(1点)	
	資源物受入施設の利便性の向上と資源物受入箇所の拡充	B(2点)	
	地域における資源物回収の推進	B(2点)	
	バイオマス活用の検討	B(2点)	
ごみの適正処理の推進	ごみの分別・排出ルールの周知方法の改善と充実	B(2点)	2.3点 (概ね順調に 進捗してい る)
	効率的な収集・運搬の推進	—	
	高齢者などのごみ処理困難者への対応	A(3点)	
	市民や地域コミュニティとの連携によるパトロールの実施など不法投棄対策の充実	B(2点)	
	将来のごみ処理施設や体制のあり方に関する調査・検討の実施	B(2点)	
まちのうらおいの創出	公園等の整備と適切な維持管理	A(3点)	2.5点 (順調に進 捗してい る)
	自然と調和したまちなみの形成に向けた取り組み	B(2点)	

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
ま ち の 美 化 の 推 進	空き家・空き地の適切な管理の促進	B(2点)	2.2 点 (概ね順調 に進捗して いる)
	公衆マナー順守を目指した意識啓発	B(2点)	
	アダプト活動の推進	B(2点)	
	ポイ捨てごみへの適切な対応	B(2点)	
	ペットの適切な飼養を目指した指導と意識啓発	B(2点)	
	飼い主のいない動物との適切な関わり方	B(2点)	
景 観 ま ち づ く り の 推 進	歴史・文化資源を活かした景観形成	B(2点)	2.3 点 (概ね順調 に進捗して いる)
	地域特性に応じた景観形成	B(2点)	
	景観まちづくりへの関心を高めるための啓発活動、 情報提供・PR	A(3点)	
	景観まちづくりの担い手の育成	A(3点)	
	「宗像市景観まちづくりプラン」「宗像市景観計画」等に 基づく保全と整備	B(2点)	
	「宗像市屋外広告物条例」に基づく規制・誘導	B(2点)	
省 エ ネ ル ギ ー の 推 進	地産地消の推進	—	—
	市民、事業者に対する省エネ行動や省エネ型設備・ 機器の更新の啓発	D(一)	
	ZEH、ZEB の普及	—	
	環境性能に優れた次世代自動車の普及、 充電・充填設備の設置拡大、エコドライブの実施	D(一)	
再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー の 導 入 促 進	市民・事業者の再生可能エネルギー導入推進	D(一)	—
	周辺の自然環境や生活環境に配慮した 再生可能エネルギー設備導入の推進	—	
	より環境に配慮した電力の導入検討	D(一)	
	地域脱炭素化促進事業の対象となる区域（促進区 域）の設定検討	—	

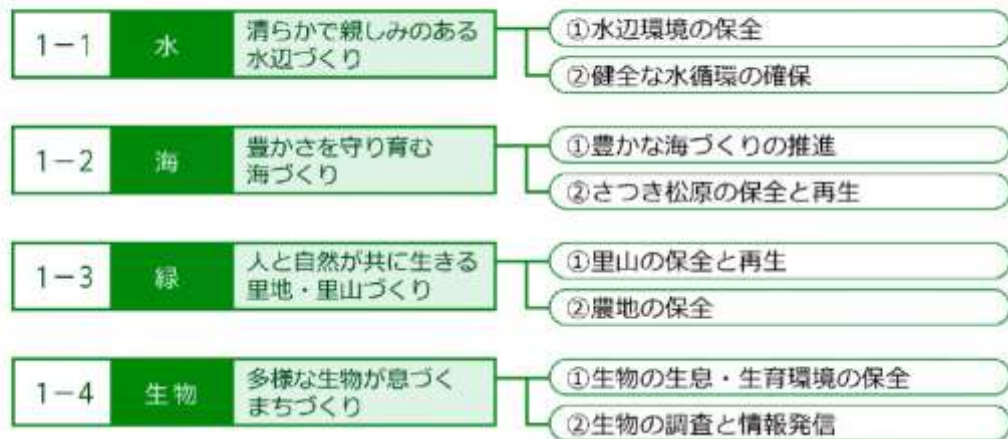
施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
地球環境の整備と改善	公共交通機関の利用促進、コンパクトシティ化	B(2点)	2点 (概ね順調に進捗している)
	デマンド型の交通サービス、コミュニティバス、シェアリングサービスを組み合わせた複合型の地域公共交通サービスの確立	B(2点)	
	エネルギーサービス事業体(地域新電力)の設立検討	D(一)	
	住宅・事業所などの緑化や生け垣の整備・管理の促進	B(2点)	
	荒廃森林対策	B(2点)	
	ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成	B(2点)	
適応策の推進	高温耐性品種への切り替えや高温障害対策に関する情報提供 ・水源林や里地・里山の適切な保全と管理(Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲) ・上下水道施設における適切な水処理の実施(Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲) ・自然環境調査の実施(Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲) ・有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進(Ⅰ. 自然環境の取り組みの再掲)	—	3点 (順調に進捗している)
	水害リスクの軽減を図る計画的な施設整備の実施	A(3点)	
	宗像市地域防災計画に基づく災害予防、災害応急対策、防災活動の実施	A(3点)	
	熱中症や感染症に関する情報提供	A(3点)	
	宗像市国土強靱化地域計画に基づくインフラ、ライフラインの強靱化推進	A(3点)	
学校等での環境教育の推進	体験型環境教育の推進	A(3点)	3点 (順調に進捗している)
	市の特色を生かした環境教育プログラムの提供	A(3点)	
	学校授業への講師(専門家、市民、市職員等)派遣	A(3点)	

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
地域での環境学習の推進	多様な環境プログラム・教材の提供	B(2点)	2.4点 (概ね順調に進捗している)
	市民を対象とした環境イベントの開催	B(2点)	
	コミュニティや公民館等での環境学習の推進	A(3点)	
	環境学習に関する情報発信の強化	A(3点)	
	将来の環境活動を担う人材の育成	B(2点)	
環境活動情報の集約及び発信	環境調査や環境活動に関する情報の集約と管理	B(2点)	2.6点 (順調に進捗している)
	市の公式ホームページなどを利用した環境情報の発信	B(2点)	
	情報の受け手に応じた新たな発信方法の検討	A(3点)	
多様な主体との協働による施策の推進	多様な主体と連携・協働による事業の実施	B(2点)	2点 (概ね順調に進捗している)
	協働化提案制度の積極的な活用	B(2点)	
	地域の環境活動を担う人材との連携	B(2点)	

環境目標

豊かな自然を守り育てる

■施策体系



～清らかで親しみのある水辺づくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
水辺環境の保全	河川美化活動事業（釣川クリーン作戦等）	B（2点）	2.3点 （概ね順調に進捗している）
	環境教育推進事業（水辺の生き物観察会、水辺教室等）	A（3点）	
	ホタルの生育状況調査と市民啓発	B（2点）	
	水源林や里地・里山の適切な保全と管理	B（2点）	
健全な水循環の確保	家庭・事業所における排水処理に関する意識啓発	A（3点）	2.6点 （順調に進捗している）
	釣川の水質検査の実施	A（3点）	
	上下水道施設における適切な水処理の実施	B（2点）	
	合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる補助の実施	B（2点）	
	県と連携した河川改修及び適正な維持管理の実施	A（3点）	
	浸水地域の雨水排水路の整備と適正な維持管理	—	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
水辺環境の	河川美化活動事業（釣川クリーン作戦等）	釣川クリーン作戦を実施し、河川美化に取り組み、可燃ごみ 890kg、不燃ごみ 270kg を収集しました（参加人数 2,055 人）。	清掃活動の意義やボランティア活動の意識向上を図り、参加者の増加につなげていく。
	環境教育推進事業（水辺の生き物観察会、水辺	小学4年生を対象とした水辺教室を市内全小学校で実施しました（890 人）。	小学校と連携し、継続して取り組んでいく。

保全	教室等)		
	ホタルの生育状況調査と市民啓発	ホタルの館でゲンジボタル 1,952 匹、ヘイケボタル 536 匹を羽化させました。 また、ホタルモニター 10 人で生育状況を調査し（飛翔数（4,628 匹）、生育数（42 か所））、市 HP に掲載しました。	今後も継続してホタルの飼育、ホタルモニターの募集を実施します。
	水源林や里地・里山の適切な保全と管理	河川浄化運動を年 2 回、市内自治会で草刈を行いました（参加総数 3,458 人）。	参加者の高齢化などで参加者数が減少している。
健全な水循環の確保	家庭・事業所における排水処理に関する意識啓発	生活排水の適正な処理を促すことを目的とした広報紙やイベントでの展示物の掲示などの啓発活動を行いました。	活動を継続的に実施し、市民や事業者意識の向上を図り、生活排水の適正な処理を促していきます。
	釣川の水質検査の実施	水質検査計画に基づき、釣川で水質検査を実施しました。 水質検査：年 12 回（かび臭物質は 8 回）基準値内	水源の状況を定期的に把握するため、今後も継続的に実施します。
	上下水道施設における適切な水処理の実施	配水管等の布設替、浄水場施設の更新及び修繕を行い、水質検査を実施しました。（布設替 30 件、更新及び修繕 7 件）。	今後も計画的に施設の維持管理を実施し、適正な水処理体制を整えていく
	合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる補助の実施	下水道の予定処理区域や集落排水処理区域の区域以外において、合併浄化槽の設置と維持管理経費の補助を行いました。 ・合併浄化槽の設置補助件数 1 件 ・維持管理経費補助件数 151 件	今後も対象者に対して補助を行い、浄化槽に適正管理を促進します。
	県と連携した河川改修及び適正な維持管理の実施	出水期前に河川パトロールを実施するとともに河川の改修及び維持工事を実施しました（27 件）。	災害を未然に防ぐために課題箇所の事前に把握と予防的な対策を実施します。

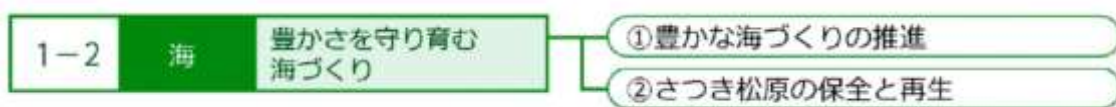
	<p>浸水地域の雨水排水路の整備と適正な維持管理</p>	<p>新設雨水路整備と既設雨水路の維持管理（浚渫・防草対策など）を実施。改善提案書等の地元要望により、新設雨水路整備 L=14m、浚渫 N=12 箇所、防草対策 N=16 箇所を実施</p>	<p>今後、市管理の調整池について、優先順位を設けて浚渫工事を行う必要があります。</p>
--	------------------------------	---	---



〈釣川クリーン作戦〉

～豊かさを守り育む海づくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
豊かな海づくりの推進	漁場環境の整備・再生	C (1点)	2.2点 (概ね順調に進捗している)
	市民や事業者との協働による海岸清掃活動や海洋ごみ回収活動の推進	B (2点)	
	森林と河川の適切な管理・保全	B (2点)	
	海岸漂着ごみの回収体制の充実	A (3点)	
	新たな海洋環境問題に関する情報収集と対応	A (3点)	
	宗像市における OECM 認証制度(生物多様性の保全を継続的に見込める方法で維持管理されている特定の地域)導入可能性検討のための情報収集	—	
	ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成	B (2点)	
さつき松原の保全と再生	県との連携による松くい虫防除事業の実施	B (2点)	2.5点 (順調に進捗している)
	市民や事業者等との協働によるさつき松原保全・再生活動の推進	A (3点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
豊かな海づくり	漁場環境の整備・再生	藻場の保全のため食害生物の除去(4.3ha・延べ363人)、母藻の設置(0.01ha・延べ8人)、ウニの密度管理(0.01ha・延べ40人)、岩盤清掃(21.3ha・延べ37人)を実施し、状況のモニタリング(1,800ha・延べ61人)を行いました。	海水温の上昇等によるウニの大量発生により、現行の予算と事業規模では藻場の保全が困難。

く り の 推 進	市民や事業者との協働による海岸清掃活動や海洋ごみ回収活動の推進	<p>ラブアース・クリーンアップを実施しました。</p> <p>＜ごみの収集実績＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は 380 人（昨年度より減少）。 ・可燃ごみ 260 kg、不燃ごみ 20kg。 	イベント周知を強化の上、次年度以降も継続して活動を実施します。
	森林と河川の適切な管理・保全	<p>① 河川浄化運動で年 2 回自治会で草刈を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期 40 自治会 1763 人 ・後期 41 自治会 1695 人 ・総参加数：3,458 人（昨年度と比べ総参加数減少） <p>② 出水期前に河川パトロールを計画通りに実施。工事は、改修工事 8 件、維持工事 5 件、浚渫工事 14 件を実施し、適切な河川の維持管理に努めました（河川の改修及び維持工事 27 件）。</p>	<p>① 高齢化により参加者が減少しています。</p> <p>③ 災害を未然に防ぐために課題となる箇所を事前に把握し、日ごろから適切な維持管理に努めます。</p>
	海岸漂着ごみの回収体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化ボランティアを募集し、応募者へグリーンネットを配布しました（応募者は海岸の漂着ごみを回収）。 ・令和 5 年度は 10 団体の新規登録がありました。 	ボランティア登録者を増やすため、啓発に取り組んでいます。
	新たな海洋環境問題に関する情報収集と対応	<p>持続可能な環境教育プログラムの構築</p> <p>■宗像の海に関する座学</p> <p>宗像漁協や高田工業所等の方々を講師とし、宗像の海の歴史や漁の特徴、磯焼けの現状についての授業を実施する。宗像ウニプロジェクトの紹介も行い、磯焼け→ウニ駆除→畜養販売→更なるウニ駆除という正の循環サイクルについて学んでもらう。</p> <p>■ウニの殻割・試食会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗像漁協の協力のもと、畜養したウニの殻割および試食会を実施する。畜養したウニを食することで、海の恵 	環境省の補助と高田工業所・宗像漁協の協力のもと実施しており、授業実施校を増やすためには、補助増額、協力者の理解が必要です。

		みと資源を循環させる仕組みの大切さを学んでもらう。	
	宗像市における OECM 認証制度（生物多様性の保全を継続的に見込める方法で維持管理されている特定の地域）導入可能性検討のための情報収集	OECM 認証制度導入可能性の検討のための情報収集を行います。	
	ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成	<ul style="list-style-type: none"> ・(R5.7月,11月,R6.3月) 藻場の被度を確認する現況調査(3回)とクレジット化を踏まえた保全活動(ウニ駆除)のクレジット量の定量評価を実施しました。 ・(R5.7月~R6.3月) 食害生物(ウニ) 駆除活動を実施しました(神湊地区4回、他地区3回)。 ・(R5.9、10月) 岩盤清掃を行いました(鐘崎1回)。 ・アワビ増殖用プレートを海中投入しました(鐘崎・大島地区計100枚)。 ・漁場整備として投石事業を行いました(鐘崎地区5,000㎡)。 ・(R6.1月~3月) アカモクをノリ網に取り付けた施設を海中投下する海藻増殖事業を実施しました(4支所11基)。 ・環境省の令和の里海づくりモデル事業を申請・採択され、市内中学生(13名)・漁業者と協働で藻場増殖事業を実施しました(R6.1)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーカーボンクレジットの認証に向けた申請書の作成を行います。 ・後年度も持続可能な保全活動のあり方の整理の必要があります。 ・造成事業については、モニタリングの結果、良好な藻場が形成されており、今後も計画的な整備の必要があ

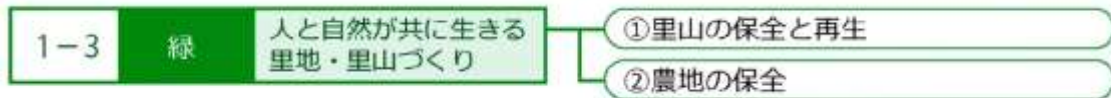
			ります。
さ つ き 松 原 の 保 全 と 再 生	県との連携 による松くい虫防除事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ被害防止のための薬剤散布・樹幹注入事業を実施しました。 ・松枯れ被害抑制のため、松枯れ被害木駆除事業の実施をしました。 R5 度実績 521 本 R4 度実績 452 本	防除適期に確実に実施する必要があります。また、松くい虫の被害は広域に及ぶため、県全体で取り組む必要があります。
	市民や事業者等との協働によるさつき松原保全・再生活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・さつき松原アダプトプログラムを実施しました。 さつき松原の 13.4ha を区画割し、それぞれの区画を市民団体や地元事業者等が里親となって、草刈等の保全活動を実施しました（アダプト・プログラム活動参加人数（延べ）：1,717 人）。 <ul style="list-style-type: none"> ・さつき松原内の広葉樹や灌木を伐採するボランティア活動を支援しました。 	白砂青松の景観の維持にも貢献していることから、継続的に実施します。



<ラブアース・クリーンアップ>

～人と自然が共に生きる里地・里山づくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
里山の保全 と再生	荒廃した森林の再生	A (3点)	3点 (順調に進 捗してい る)
	森づくり活動の推進	—	
	森林の有する公益的機能の発揮に向けた取り組み	—	
	荒廃竹林対策	—	
農地の保全	農業資源の保全活動の支援	A (3点)	3点 (順調に進 捗してい る)
	遊休農地の適正な利用推進	—	
	後継者の育成	—	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み 事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課 題など
里 山 の 保 全 と 再 生	荒廃した森 林の再生	荒廃のおそれがある森林を公益的機能が長期的に発揮で きる森林に誘導するため、強度間伐等の森林整備に取り組 むもの。 長期間手入れされていないスギ・ヒノキの人工林につい て、強度間伐や侵入竹の伐採に取り組み、令和5年度は 強度間伐 13.14ha、侵入竹伐採 14.48ha 実施。	福岡県森林環境 税事業として県 から交付を受け 実施している が、令和9年度 までの事業とな っており、以降 は未定。また、 協定締結でき ず、実施困難な 場所があります
	森づくり活 動の推進		
	森林の有す る公益的機 能の発揮に 向けた取り 組み		
	荒廃竹林対	①竹林広葉樹林化事業（竹転）では、竹林を伐採し、広	引き続き、放置

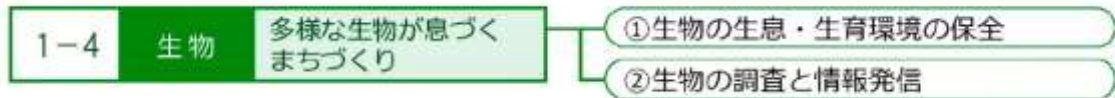
	策	<p>葉樹林化する事業の自己負担分を市が支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度竹転：0.88ha <p>②竹粉碎機助成事業では、市民等が伐採した竹を粉碎処理するために要した費用を助成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度竹林伐採面積：0.54ha。 <p>（本市の竹林面積：約 400ha）</p>	竹林対策に取り組んでいます。
農地の保全	農業資源の保全活動の支援	<p>市内 14 組織が多面的機能直接支払交付金事業を実施しました（取組面積：450ha）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路や農用地法面等の草刈りや、農道の路面維持等地域資源の保全活動を実施しました。 ・水路等施設の軽微な補修や、防災・減災力強化等地域資源の質的向上を図る共同活動を実施しました。 ・老朽化の進むポンプや水路等の補修や更新を行い、施設の長寿命化を図りました。 	農業・農村の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう事業を継続します。
	遊休農地の適正な利用推進	<p>離農などにより、遊休農地の増加が想定されるため、引き続き農業委員会やむなかた地域活性化機構と連携し、補助事業等を活用して、遊休農地の解消に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度遊休農地解消面積：0.5ha 	引き続き遊休農地の解消に努めます。
	後継者の育成	<p>農地保全には、「土地利用型農業」に係る後継者を確保する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度青年等就農計画認定者数：2 経営体 	親元就農のほか、第三者継承の仕組み作りを検討します



<多面的機能支払交付金を活用し、水路の草刈りを実施>

～多様な生物が息づくまちづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
生物の生息・生育環境の保全	ホタルの繁殖活動及び飛翔状況に関する調査・情報提供	B (2点)	2.7点 (順調に進捗している)
	カノコユリに関する繁殖普及活動及び情報提供	B (3点)	
	有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進	A (3点)	
	希少野生動植物種の保全	D (-)	
生物の調査と情報発信	自然環境調査の実施	D (-)	3点 (順調に進捗している)
	自然観察会や体験学習会の開催	A (3点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
生物の生息・生育環境の保全	ホタルの繁殖活動及び飛翔状況に関する調査・情報提供	ホタルの館でゲンジボタル 1,952 匹、ヘイケボタル 536 匹を羽化させた。 また、ホタルモニター 10 人で生育状況を調査し（飛翔数（4,628 匹）、生育数（42 か所））、市 HP に掲載しました。	今後も継続してホタルの飼育、ホタルモニターの募集を実施します。
	カノコユリに関する	・カノコユリ鑑賞会に 22 名、バスツアーに 17 名、球根植え講習会に 37 名、種まき講習会に 10 名参加。山	市の花であるカノコユリの繁殖

	る繁殖普及活動及び情報提供	<p>田ホルの里公園のカノコユリ園の整備をカノコユリの会と協働で実施しました。</p> <p>・カノコユリの冊子を窓口に来た方に渡しました。</p> <p>・繁殖業務委託については、カビが生え球根数は減少。一方、市民団体の活動による球根数は増加しました。</p>	普及活動を継続します。
	有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進	<p>・市の広報紙にてセアカゴケグモやマダニ対策、アライグマ防除についての周知を行いました。</p> <p>・有害鳥獣捕獲頭数：1,503 頭羽</p>	毎年啓発します。農作物被害が拡大しないよう、引き続き捕獲に取り組みます。
	希少野生動植物種の保全	希少野生動物種が確認されれば保護対策を行います。	
生物の調査と情報発信	自然環境調査の実施	必要に応じて調査を実施します。	
	自然観察会や体験学習会の開催	市内の小学４年生を対象とした水辺教室について、令和５年度は 890 人の参加があり、昨年度と同様に市内全小中学校で実施しました。（大島学園は３年に１回のためなし。）	継続して取り組んでいます。



<カノコユリバスツアー>

環境目標

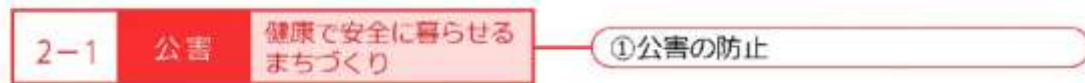
安心して暮らせる生活環境のあるまちづくり

■施策体系



～健康で安全に暮らせるまちづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
公害の防止	PM2.5 や光化学オキシダントに関する市民への情報提供の充実及び警報・注意報発令時における迅速な対応	D(-)	2.1 点 (概ね順調に進捗している)
	屋外におけるごみの焼却（野焼き）等への指導	B(2点)	
	次世代自動車などの低公害車の普及に向けた情報提供	—	
	公共交通機関の利用促進	B(2点)	
	釣川の水質検査の実施	A(3点)	
	市民、事業所、関係機関と連携した釣川の水質保全の取り組みの推進	B(2点)	
	家庭・事業所における適切な排水処理に関する意識啓発	B(2点)	
	市内主要道路6路線における自動車騒音監視	A(3点)	
	生活騒音に関する住民への啓発	B(2点)	
	発生源の適切な調査・指導の実施	B(2点)	
	苦情相談体制の充実	C(1点)	
	家庭用農薬、殺虫剤などの適正使用に関する啓発	B(2点)	
	本市管理施設における「宗像市管理施設における化学物質使用に関するガイドライン」の遵守	B(2点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

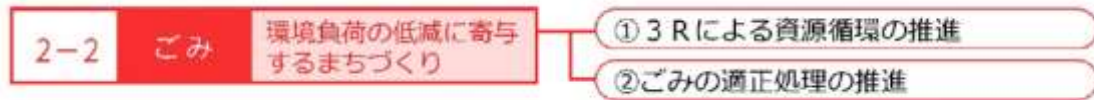
	取り組み 事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
公害の防止	PM2.5 や光化学オキシダントに関する市民への情報提供の充実及び警報・注意報発令時における迅速な対応	注意報等が出た場合は、迅速に対応していきます。	
	屋外におけるごみの焼却(野焼き)等への指導	屋外焼却通報時には迅速に対応し、原因者へ指導しました。また、市の広報紙やHPで啓発を実施しました。 ・令和5年度 野焼き指導数：30件 ・令和4年度 野焼き指導数：26件	今後も継続していきます。
	次世代自動車などの低公害車の普及に向けた情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・デコ活や国の補助制度の情報発信等を検討します。 ・域内の次世代自動車の普及率の把握に努めます。 ・次世代自動車等の普及に関する広報実施を検討します。 	
	公共交通機関の利用促進	<p>市内の路線バスや航路、市内の多様な移動を支える支線交通について、交通事業者と連携しながら、ニーズに応じたサービス改善などを適宜行い、利便性を高めます。地域公共交通に関する情報提供を強化し、誰もが地域公共交通を迷わず利用しやすい環境形成を進めていきます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通利用率31% <p>(地域公共交通利用率…市が例年実施する市民アンケートにより把握しているもので、JR、西鉄バス、タクシー、ふれあいバス、コミュニティバス、オンデマンドバスを月に1回以上利用すると回答した方の割合を算出したもの)</p>	「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、利便性、速達性の向上や事業収支を考慮し、「共創型」交通ネットワークの構築を

		行っています。
釣川の水質検査の実施	<ul style="list-style-type: none">・釣川川端堰で年 12 回、かび臭物質については年 8 回の水質検査を実施しました。・年 12 回、1 か所で釣川の水質検査を実施しました。	<ul style="list-style-type: none">・必要に応じて、釣川の上流中流下流の 3 ヶ所の水質検査を行います。・今後も継続的に実施します。
市民、事業所、関係機関と連携した釣川の水質保全の取り組みの推進	<p><河川浄化運動> 年 2 回自治会で草刈を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none">・前期 40 自治会 1763 人・後期 41 自治会 1695 人・総参加数：3,458 人（昨年度と比べ総参加数減少） <p><クリーン作戦></p> <ul style="list-style-type: none">・参加人数：2,055 人（昨年度より微増）・ごみの収集実績は、可燃ごみ 890kg、不燃ごみ 270kg <p><釣川堤防草刈> 有償ボランティア 4 団体により、年 2 回実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none">・草刈面積計：136,368 m²（太郎坊橋～東郷橋の釣川堤防）	今後も継続します。
家庭・事業所における適切な排水処理に関する意識啓発	<p>生活排水の適正な処理を促すことを目的とした広報紙やイベントでの展示物の掲示などの啓発活動を行いました。</p> <p>意識啓発活動：3 回</p>	市民や事業者意識の向上を図り、生活排水の適正な処理を促していきます。
市内主要道路 6 路線における自動車騒音監視	県道宗像玄海線で実施し、調査結果は環境基準を満たすものでした。	継続して実施します。
生活騒音に関する住民への啓発	R5 年度の生活騒音苦情は 18 件であり、R4 年度(22 件)より減少しました。	年に数回、広報紙や HP 等で啓発を行います。

発生源の適切な調査・指導の実施	R5 年度は苦情 73 件で R4 年度(38 件)より増加した。 また、指導件数は 0 件であった。(R4 年度も同様)	必要に応じて県に協力を仰ぎ、原因究明を行います。広報紙や HP で等で啓発を行います。
苦情相談体制の充実	R5 年度は苦情 73 件で R4 年度(38 件)より増加しました。	広報等を活用し啓発の強化を図ります。県の協力を仰ぎ原因究明を行います。
家庭用農薬、殺虫剤などの適正使用に関する啓発	必要に応じて、広報紙や HP で啓発を行います。 令和 5 年度苦情：0 件	
本市管理施設における「宗像市管理施設における化学物質使用に関するガイドライン」の遵守	HP に化学物質使用マニュアルや市管理施設の化学物質使用状況を掲載。使用した薬品の件数は、931 件(対象 57 施設)。	化学物質使用状況は例年同様であった為、使用薬剤や使用状況の見直しにより、化学物質の使用抑制を検討。ガイドラインについて見直しを検討。 庁内職員研修の検討。 市管理施設の化学物質使用状況の情報内容更新。

～健康で安全に暮らせるまちづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
3Rによる資源循環の推進	分かりやすい情報提供と充実した啓発活動による3Rの推進	C(1点)	1.8点 (概ね順調に進捗している)
	ごみの分別・排出ルールの徹底	B(2点)	
	食品ロス対策の推進	A(3点)	
	生ごみ減量の取り組み推進	B(2点)	
	事業所への減量化等計画書に基づく指導	C(1点)	
	事業系ごみの減量化・資源化の推進	C(1点)	
	資源物受入施設の利便性の向上と資源物受入箇所の拡充	B(2点)	
	地域における資源物回収の推進	B(2点)	
	バイオマス活用の検討	B(2点)	
ごみの適正処理の推進	ごみの分別・排出ルールの周知方法の改善と充実	B(2点)	2.3点 (概ね順調に進捗している)
	効率的な収集・運搬の推進	—	
	高齢者などのごみ処理困難者への対応	A(3点)	
	市民や地域コミュニティとの連携によるパトロールの実施など不法投棄対策の充実	B(2点)	
	将来のごみ処理施設や体制のあり方に関する調査・検討の実施	B(2点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
3Rに	分かりやすい情報提供	資源集団回収を奨励し、リサイクルを推進しました。	資源集団回収は継続して実施し

よ る 資 源 循 環 の 推 進	と充実した 啓発活動に よる 3R の 推進	【資源集団回収】申請団体数 213 件。 【リサイクルショップ】実施なし	ます。リサイク ルショップを― 年 4 回実施しま す。
	ごみの分 別・排出ル ールの徹底	「家庭ごみの出し方」パンフレットを転入世帯向けに増 刷、配布しました。広報紙などでごみの分別・排出ルール を周知しました。地域分別収集の説明動画を配信しまし た。 ・令和 5 年度リサイクル率 22.7% ・一般廃棄物処理基本計画令和 5 年度目標リサイクル率 30.1%	継続して実施し ます。
	食品ロス 対策の推 進	「てまえどり」の啓発をしました。また、フードドライ ブは常時市で受入れており、受入れた物は一般社団法人 福岡県フードバンク協議会へ提供しています。食品ロス 削減月間（10 月）は市内店舗等と合同で実施しました。 ・R5 フードドライブの受入重量:421 kg ・R4 フードドライブでの受入重量:418 kg	継続して実施し ます。
	生ごみ減 量の取り 組み推進	生ごみ処理容器等購入費補助金を交付し、生ごみの減量 を促進しました。補助の対象品目が拡大したことによ り、申請件数が増加しました。 生ごみ処理容器等購入費補助金 申請数 70 件	継続して実施し ます。
	事業所へ の減量化 等計画書 に基づく 指導	事業所から減量化計画書を収集しました。 ・事業ごみ量 令和 5 年度実績：7,772 t ・一般廃棄物処理基本計画令和 5 年度目標：7,139 t	ごみの内訳等、 事業所へヒアリ ングの上、実情 の把握を進めま す。
	事業系ごみ の減量化・ 資源化の推 進	① 事業所から減量化計画書を収集しました。 ・事業ごみ量 令和 5 年度実績：7,772 t ・一般廃棄物処理基本計画令和 5 年度目標：7,139 t ②自由ヶ丘小学校児童がコンポストを用いて実証実験を 行いました。 ・9 月～11 月 調理くず投入期間（約 40 kg） ・12 月～3 月 熟成期間（約 100 l） ・3 月 14 日 完成した堆肥を活用し植栽した花苗 100	学校と協議をし ながら進める必 要があります。 また、食べ残し を含む厨芥類の 堆肥化を検討し ます。

		鉢を、卒業式で卒業生の通路（とおり道）に展示しました。	
	資源物受入施設の利便性の向上と資源物受入箇所の拡充	市役所資源物受入施設を通年で開設し、利用者の分散を図りました。 ＜資源物受入施設利用者のうち西側資源物受入施設の利用者の割合＞ ・令和５年度：56% ・令和４年度：58%	引き続き、市役所資源物受入施設を通年で開設し、資源物受入施設利用者の分散を図る。
	地域における資源物回収の推進	コミセン２か所で資源物受入を行いました。	令和６年度は、２か所のサテライト施設開設を目指します。
	バイオマス活用の検討	自由ヶ丘小学校児童がコンポストを用いて実証実験を行いました。 ・９月～１１月 調理くず投入期間（約４０kg） ・１２月～３月 熟成期間（約１００ℓ） ・３月１４日 完成した堆肥を活用し植栽した花苗 １００鉢を、卒業式で卒業生の通路（とおり道）に展示しました。	学校と協議をしながら進める必要があります。 また、食べ残しを含む厨芥類の堆肥化を検討します。
ごみの適正処理の推進	ごみの分別・排出ルール周知の改善と充実	「家庭ごみの出し方」パンフレットを転入世帯向けに増刷、配布しました。 広報紙、地域分別カレンダーなどでごみの分別・排出ルールを周知。地域分別収集の説明動画を配信しました。 ・令和５年度リサイクル率：22.7% （一般廃棄物処理基本計画令和５年度目標リサイクル率：30.1%）	継続して実施します。
	効率的な収集・運搬の推進	収集運搬事業者と連携し、ごみステーションの増設、移設などを実施しました。	家庭ごみ収集運搬業務の効率化を図るため、収集運搬状況の聞き取り、現地調査を検討します。
	高齢者などのごみ処理	高齢、障害等により家庭から排出するごみを所定のごみ集積所に持ち出すことが困難な者に対し、戸別にごみの収集	事業継続を要すると考えます。

困難者への対応	<p>を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度新規利用申請件数：６１件 ・令和５年度新規利用決定件数：５５件 ・令和５年度死亡などによる廃止件数：３５件 	
市民や地域コミュニティとの連携によるパトロールの実施など不法投棄対策の充実	<p>週１回、職員によるパトロールをボランティアが収集したごみを回収する際に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度不法投棄数：２０件 ・不法投棄防止のための看板設置：公共用地１６箇所（相談１３件） 	継続して実施します。
将来のごみ処理施設や体制のあり方に関する調査・検討の実施	<p>８地区の家庭ごみ組成調査を行いました。</p> <p>紙、プラスチック、衣料品などの資源ごみは減少しましたが、厨芥類は重量、割合ともに増加しました。</p>	継続して実施します。



<自由ヶ丘小学校児童がコンポストを用いて実証実験>

環境目標

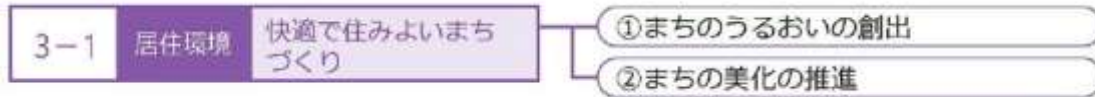
自然と歴史、環境が調和する快適で美しいまちづくり

■施策体系



～快適で住みよいまちづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
まちのうる おいの創出	公園等の整備と適切な維持管理	A(3点)	2.5点 (順調に進 捗してい る)
	自然と調和したまちなみの形成に向けた取り組み	B(2点)	
ま ち の 美 化 の 推 進	空き家・空き地の適切な管理の促進	B(2点)	2.2点 (概ね順調 に進捗して いる)
	公衆マナー順守を目指した意識啓発	B(2点)	
	アダプト活動の推進	B(2点)	
	ポイ捨てごみへの適切な対応	B(2点)	
	ペットの適切な飼養を目指した指導と意識啓発	B(2点)	
	飼い主のいない動物との適切な関わり方	B(2点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み 事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課 題など
ま ち の う る お い	公園等の整備と適切な維持管理	定期的な遊具施設の点検を計画通りに実施しました。また、工事の内訳については、公園遊具の更新21件、公園施設改修工事18件を実施しました。また、その他に植栽管理の工事を41件実施しており、適切な公園の維持管理に努めました。 ・突発的な故障・事故：0件	施設数が多く、全てに対応することが難しいため、日ごろから適切な維持管理に努めます。
	自然と調和したまちな	定例の景観アドバイザー会議に加え、個別協議を行うなど、積極的に景観協議を実施しました。	景観アドバイザーに意見を求め

の 創 出	みの形成に 向けた取り 組み	<p>自然と調和したまちなみの形成や歴史・文化資源とその周辺地域との一体的な景観形成を図ることを目的に協議を重ねることで、周辺地域と調和した景観の形成を推進することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和５年度景観協議件数：１９件 ・令和５年度まちなみ（景観）が整っていると感じている市民の割合：５３％ ・令和９年度目標・まちなみ（景観）が整っていると感じている市民の割合：６７％ 	ながら、引き続き、良好な景観の形成を図っていきます。
ま ち の 美 化 の 推 進	空き家・空き地の適切な管理の促進	令和５年度の適切な管理ができていないことによる対応件数は空き家が８８件、空き地が１１４件と令和３年度から３年度間でほぼ横ばいでした。所有者へ適切な管理をお願いするとともに、所有者不在の場合は相続人を調査しています。	所有者へ適切な管理をお願いするとともに、セミナーの実施や文書送付による啓発活動を行います。
	公衆マナー順守を目指した意識啓発	<p>週１回、職員によるパトロールをボランティアが収集したごみを回収する際に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止のための看板設置：公共用地１６箇所（相談１３件） 	継続して実施します。
	アダプト活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化ボランティアを募集し、応募者へグリーンネットを配布しました（応募者は海岸の漂着ごみを回収）。 ・令和５年度は１０団体の新規登録がありました。 	ボランティア登録者を増やすため、啓発に取り組んでいきます。
	ポイ捨てごみへの適切な対応	１０４回不法投棄監視パトロール車を巡回し、ごみ捨てに関してマナーを守るよう意識啓発を図りました。	継続して実施します。
	ペットの適切な飼養を目指した指導と意識啓発	<p>狂犬病予防集合注射の実施、広報にて犬の飼い方のマナーの啓発を行いました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射接種率：６８．５％ 	継続して実施します。

	飼い主のいない動物との適切な関わり方	令和5年度は、犬猫に関する苦情や相談が25件あり、地域でマナーに関する回覧や看板の貸出しを行いました。また、地域猫活動の支援を行いました。	広報等によるマナー啓発を行います。
--	--------------------	---	-------------------

～美しいまちなみづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
景観まちづくりの推進	歴史・文化資源を活かした景観形成	B(2点)	2.3点 (概ね順調に進捗している)
	地域特性に応じた景観形成	B(2点)	
	景観まちづくりへの関心を高めるための啓発活動、 情報提供・PR	A(3点)	
	景観まちづくりの担い手の育成	A(3点)	
	「宗像市景観まちづくりプラン」「宗像市景観計画」等に 基づく保全と整備	B(2点)	
	「宗像市屋外広告物条例」に基づく規制・誘導	B(2点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
景観まちづくり	歴史・文化資源を活かした景観形成	<p>定例の景観アドバイザー会議に加え、個別協議を行うなど、積極的に景観協議を実施しました。</p> <p>自然と調和したまちなみの形成や歴史・文化資源とその周辺地域との一体的な景観形成を図ることを目的に協議を重ねることで、周辺地域と調和した景観の形成を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度景観協議件数：19件 ・令和5年度まちなみ（景観）が整っていると感じている市民の割合：53% 	<p>景観アドバイザーに意見を求めながら、引き続き、良好な景観の形成を図ります。</p>

の 推 進		・令和 9 年度目標・まちなみ（景観）が整っていると感じている市民の割合：67%	
	地域特性に応じた景観形成	地区計画制度を通して、地域特性を活かした景観の形成が推進されました。 ・令和 5 年度地区計画届出件数：24 件 また、「まちづくり専門家派遣制度」を活用したまちづくり協議会を 1 団体認定し、地域主導によるまちづくり活動の支援を実施しました。	引き続き地域特性を活かした景観の形成を推進します。
	景観まちづくりへの関心を高めるための啓発活動、情報提供・PR	景観フェスタへの参加、市広報による屋外広告物ルールの周知、歴まちInstagramへの掲載等による情報発信を推進しました。 ・令和 5 年度景観周知の実施件数：14 件 ・令和 4 年度景観周知の実施件数：13 件	本市景観の魅力を周知し、景観まちづくりへの関心を高めていきます。
	景観まちづくりの担い手の育成	唐津街道むなかた推進協議会の活動を通し、話し合う場の設定や市民活動の支援等を実施し、市民が景観まちづくりに参与できる仕組みづくりを検討しました。また、新たなイベントの実施や市民参加型の清掃活動の実施により、多くの市民が景観まちづくりの活動に参加しました。 風景の課題等を考える風景診断の実施を通して、道路やまちなみに対する課題の共有が図られ、参加者の意識を高めることができました。 唐津街道むなかた推進協議会活動参加者数：133 人	地域住民が主体的にまちづくりの活動ができるよう、引き続き、活動の支援を行います。
	「宗像市景観まちづくりプラン」 「宗像市景観計画」等に基づく保全と整備	建築物や工作物の新築及び改築等に対し、景観条例に基づき事前協議や届出を求めることにより、地域の特性に応じた適切な助言や指導を行うことができた。まじ。 令和 5 年度事前協議・届出実績：42 件	適切に届出がされるよう、引き続き制度の周知を図っていきます。
	「宗像市屋外広告物条例」に基づく規制・誘	・違反広告物を減らし、屋外広告物条例の基準を満たす広告物へ誘導する取り組みとして許可申請を勧奨しました。 ・屋外広告物条例に基づく適正な許可申請を勧奨し、違反広告物の是正や除却を推進しました。	通知文書の送付、電話や訪問を実施し、許可申請等につなげ

	導		ていきます。また、新たに設置される屋外広告物の把握に努め、許可申請の勧奨を行っています。
--	---	--	--



<唐津街道むなかた推進協議会による、城山の旧唐津街道清掃>

環境目標

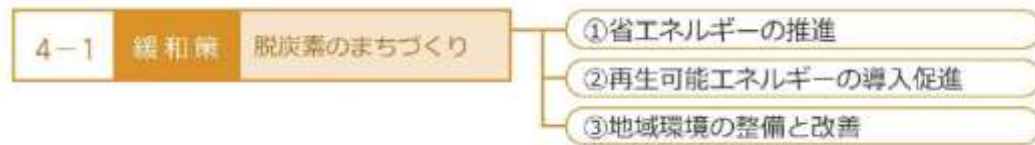
脱炭素化をめざしたまちづくり

■施策体系



～脱炭素のまちづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
省エネルギーの推進	地産地消の推進	—	—
	市民、事業者に対する省エネ行動や省エネ型設備・機器の更新の啓発	D(一)	
	ZEH、ZEBの普及	—	
	環境性能に優れた次世代自動車の普及、充電・充填設備の設置拡大、エコドライブの実施	D(一)	
再生可能エネルギーの導入促進	市民・事業者の再生可能エネルギー導入推進	D(一)	—
	周辺の自然環境や生活環境に配慮した再生可能エネルギー設備導入の推進	—	
	より環境に配慮した電力の導入検討	D(一)	
	地域脱炭素化促進事業の対象となる区域（促進区域）の設定検討	—	
地球環境の整備と改善	公共交通機関の利用促進、コンパクトシティ化	B(2点)	2点 (概ね順調に進捗している)
	デマンド型の交通サービス、コミュニティバス、シェアリングサービスを組み合わせた複合型の地域公共交通サービスの確立	B(2点)	
	エネルギーサービス事業体(地域新電力)の設立検討	D(一)	
	住宅・事業所などの緑化や生け垣の整備・管理の促進	B(2点)	
	荒廃森林対策	B(2点)	
	ブルーカーボンとしての藻場の保全・造成	B(2点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
省エネルギーの推進再生可能エネルギーの導入促進	地産地消の推進	<p>【農業振興課】</p> <p>・農産物直売施設で地場農産物を販売しました（来店者 19.1 万人。売上高約 3 億 2 2 0 0 万円）。また生産者が安価で販売できる環境整備や、学校給食や子ども寺子屋カフェ事業団体へ食材の提供を行いました。</p> <p>【学校管理課】</p> <p>給食献立における地場産物の積極的な利用を推奨しました。</p> <p>【健康課】</p> <p>食生活改善推進会をはじめ、関係機関・団体と連携しながら、食育講演会（「むなかた野菜のおいしさ、再発見！」）などを開催し、地産地消の啓発普及に取り組みました。</p> <p>【脱炭素社会推進課】</p> <p>むなかた子ども大学「ゼロカーボンコース」にて地場農産物を使用し、地産地消と CO2 削減との関連性を学ぶエコクッキングを実施しました。</p>	<p>【農業振興課】</p> <p>高齢化等による出品者数が減少や近隣の食品店の進出等により来客数が減少しているため、他社と差別化及び魅力あるお店作りが課題です。</p> <p>【学校管理課】</p> <p>今後、更なる利用のため、地場産物の集荷状況等を随時学校に伝える等、伝達手段の改善や、宗像育ちの産品を給食に使う事業を実施します。</p> <p>【脱炭素社会推進課】</p> <p>今後、引き続きむなかた子ども大学などにおいて啓発事業を実施します。</p>
	市民、事業者に対する省エネ行動や省エネ型設備・機器の更新の啓発	令和6年度実施の脱炭素支援事業である「ECO チャレンジ応援事業」において「省エネ家電の購入」、「家庭用 LED 照明器具などの購入」の取組みに対するインセンティブ（交通系ポイント付与）を設定し、市民・事業者への普及促進を図ります。	
	ZEH、ZEB の普及	ZEH については、令和6年度実施の脱炭素支援事業である「ECO チャレンジ応援事業」において「住宅窓の複層ガラス等への改修など」の取組みに対するインセンティブ（交通系ポイント付与）を設定し、市民への普及促進を	

		図ります。また、ZEBについては、国や県の補助事業や説明会の情報提供を随時実施します。	
環境性能に優れた次世代自動車の普及、充電・充填設備の設置拡大、エコドライブの実施	市の率先行動として、市の公用車 14 台をハイブリッド車に、ふれあいバス 1 台を EV バスに更新しました。	今後、次世代自動車の普及、充電・充填設備の設置拡大、エコドライブの実施が推進する手法を検討します。	
市民・事業者の再生可能エネルギー導入推進	令和 6 年度実施の脱炭素支援事業である「ECO チャレンジ応援事業」において「再生可能エネルギー由来の電力購入」の取組みに対するインセンティブ（交通系ポイント付与）を設定し、市民・事業者への普及促進を図ります。		
周辺の自然環境や生活環境に配慮した再生可能エネルギー設備導入の推進	大規模開発を伴わない農地やため池などを使用した太陽光発電設備の導入手法の検討を行いました。	引き続き、環境に配慮した再生可能エネルギー導入の手法を検討します。	
より環境に配慮した電力の導入検討	市の率先行動として、公共施設の使用電力状況を把握し、一部の施設では非化石由来の電力に切り替えた場合の経済性試算を行うなど調査を実施しまし。	今後、化石燃料由来と非化石燃料由来で価格差が同程度又は低額で導入できる仕組みを検討します。	
地域脱炭素化促進	促進区域の設定に当たっては、設定による地域経済の利点が少ないため、合意形成を図ることが難しい。そのため、引き続き、国の動きを注視しつつ、		

	事業の対象となる区域（促進区域）の設定検討	設定方法について検討します。	
地球環境の整備と改善	公共交通機関の利用促進、コンパクトシティ化	市内の拠点間の移動を支える路線バスや航路、市内の多様な移動を支える支線交通について、交通事業者と連携し、ニーズに応じたサービス改善などを適宜行いました。（地域公共交通利用率 31%）	引き続き、地域公共交通に関する情報提供を強化し、誰もが地域公共交通を迷わず利用しやすい環境形成を進めていきます。将来都市像「コンパクトで魅力的な地域がネットワークする生活交流都市」に向け、駅周辺等へ都市機能を集約化していく必要があります。
	デマンド型の交通サービス、コミュニティバス、シェアリングサービスを組み合わせた複合型の地域公共交通サービスの確立	市内の運輸部門における地球温暖化ガスの排出量を抑制するべく、地域公共交通車両の脱炭素化（EVバス）や、市民の環境配慮型交通行動への転換を推進していくために、地域公共交通を利用することのメリットや交通サービスの利用の仕方の周知などを行いました。（運輸（自動車）部門における CO2 排出量 77 千 t-CO2/人（令和 3 年度環境省自治体排出量カルテより））	コミュニティ交通の環境配慮型車両への転換や、市民への地域公共交通利用啓発等に取り組み、地球にやさしい交通体系の構築を目指す。
	エネルギー	今後、新規の設立検討に留まらず、既存企業の採用なども含めて設立手法を	

ーサービ ス事業体 (地域新 電力)の 設立検討	検討します。	
住宅・事 業所など の緑化や 生け垣の 整備・管 理の促進	啓発事業として花壇コンクールを実施しました(14組参加)。また、メイトム宗像前の花壇の植栽活動を実施しました(23回)。	市民活動団体の会員の高齢化により、植栽活動回数が減少している。引き続き、広報等による会員募集を積極的に実施し、継続的な活動の維持・向上を目指します。
荒廃森林 対策	長期間手入れされていないスギ・ヒノキの人工林について、土地所有者と協定を締結し、強度間伐や侵入竹の伐採に取り組みました(強度間伐13.14ha、侵入竹伐採14.48ha)。	福岡県森林環境税事業として県から交付を受け実施しているが、令和9年度までの事業となっており、以降は未定。また、協定締結できず、実施困難な場所があります。
ブルーカ ーボンと しての藻 場の保 全・造成	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な食害生物(ウニ)の駆除活動や岩盤清掃を実施しました(神湊4回、他3回)。 ・アワビ増殖用プレートや投石による漁場整備事業を実施しました プレート: 鐘崎・大島地区計100枚 投石: 鐘崎地区5,000㎡ <ul style="list-style-type: none"> ・藻場の被度を確認する現況調査と保全活動(ウニ駆除)のクレジット量の定量評価を実施しました。 アカモクをノリ網に取り付けた施設を海中投下する海藻増殖事業を市内中学生と漁業者が協働して実施しました(4支所11基)。	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場整備事業は良好な藻場が形成されており、今後も計画的な整備が必要です。 ・今後、保全活動のクレジット化による収益化など、ボランティアではない、持続可能な保全活動のあり方の整理・検討が必要です。



<むなかた子ども大学「ゼロカーボンコース」>

～脱炭素のまちづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
適応策の推進	高温耐性品種への切り替えや高温障害対策に関する情報提供 ・水源林や里地・里山の適切な保全と管理（Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） ・上下水道施設における適切な水処理の実施（Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） ・自然環境調査の実施（Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） ・有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進（Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲）	—	3点 （順調に進捗している）
	水害リスクの軽減を図る計画的な施設整備の実施	A(3点)	
	宗像市地域防災計画に基づく災害予防、災害応急対策、防災活動の実施	A(3点)	
	熱中症や感染症に関する情報提供	A(3点)	
	宗像市国土強靱化地域計画に基づくインフラ、ライフラインの強靱化推進	A(3点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
適応策の	高温耐性品種への切り替えや高温障害対策に関する情報	高温耐性品種への切り替えや高温障害対策については、国や県等からの情報をJAに提供しました。	引き続き情報提供を行います。

推 進	<p>提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源林や里地・里山の適切な保全と管理 （Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） ・上下水道施設における適切な水処理の実施 （Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） ・自然環境調査の実施 （Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） ・有害鳥獣や特定外来生物の防御対策の推進 （Ⅰ．自然環境の取り組みの再掲） 		
--------	---	--	--

	<p>水害リスクの軽減を図る計画的な施設整備の実施</p>	<p>① 幹線道路の通行を確保するための適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舗装長寿命化計画に沿い幹線道路 1.4 kmの舗装を更新しました。 ・道路等修繕（130箇所）、道路側溝清掃委託（39箇所）等を実施しました。 <p>② 氾濫の可能性がある市管理河川の改修の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨期前に河川の点検を実施し、堆積土砂の撤去や雑木の撤去などの維持工事を15件、河川改修工事を3件実施しました。 <p>③ 県管理河川の堤防の嵩上げや河道の掘削、堰の改築などの治水事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防嵩上げ対策の設計、老朽化した護岸の補修工事を実施しました。 <p>④ 県と連携し、樋門や排水ポンプ施設、雨水貯留施設の維持管理・整備等を行いました。</p> <p>【福岡県北九州市土整備事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川改修工事の実施（山田川） <p>【下水道課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線や調整池等の浚渫（8件） ・雑木の伐採等（7件） ・排水ポンプ施設の維持管理 <p>【都市計画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「雨に強いまちづくりビジョン～雨水管理総合計画～」策定 <p>⑤ 津波や高潮被害の軽減を図るための海岸堤防の整備や維持補修等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸堤防に異常が無いか随時巡視しました。 <p>⑥ ポンプ場や雨水貯留施設の適切な維持管理をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水幹線や調整池等の浚渫（8件） ・雑木の伐採等（7件） ・排水ポンプ施設の維持管理。 <p>⑦ 用水路及び井堰等の農業用施設の老朽化対策をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田んぼダム整備（6ha/年）。 	<p>① ・引き続き舗装の更新をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路等修繕（150箇所）、道路側溝清掃委託等（20箇所）を実施します。 <p>② ・雨期前に河川を点検します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の整備に伴う河川改修工事を2件、浚渫工事等を10件実施します。 <p>③ 堤防嵩上げ工事、護岸補修工事を実施します。</p> <p>④ 引き続き県と連携し、維持管理・整備を実施します。</p> <p>【下水道課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城山中学校校舎建替に伴う赤間幹線改築工事（雨水）を実施します。 <p>【都市計画課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田熊地区・くりえいと地区雨水対策施設予備設計、基本設計・
--	-------------------------------	---	---

	<p>・用水路、井堰の改修（用水路・井堰計５０箇所）。</p> <p>⑧ 主要箇所の浸水状況が把握できる監視カメラを設置しました。</p> <p>・浸水監視カメラ（３箇所）を増設し、その映像を市ＨＰに掲載し市民に周知しました。併せて、防災情報ダッシュボードや防災マップにも連携し、避難時などでの活用を周知しました。</p>	<p>実施設計をします。</p> <p>・栄町地区外フラップゲート実施設計をします。</p> <p>⑤ 引続き異常がないか巡視します。</p> <p>⑥ ・雑木の伐採等を実施します。</p> <p>・城山中学校校舎建替に伴う赤間幹線改築工事（雨水）を実施します。</p> <p>⑦ ・陵厳寺井堰・田久井堰長寿命化実施計画の発注や、農業用施設の改良、地盤沈下農地対策工事（４件）を行います。</p> <p>⑧ 浸水センサーを用いたシステムに関して、市民や職員に浸水箇所等を周知します。</p>
宗像市地域防災計画に基づく災害予防、災害	<p>①・自治会を対象に防災講座を実施し、自主防災会議参加による啓発事業を計１８件実施しました。</p> <p>・防災マップの改定を実施し、ＷＥＢ版防災マップと３Ｄマップを市ＨＰに掲載しました。</p> <p>②応急医療を行うため、平常時から、宗像医師会等関係機</p>	<p>①・改定した市防災マップを全戸配布します。</p> <p>・引き続き防災</p>

応急対策、 防災活動の 実施	<p>関との連携・協力しました。</p> <p>③・洪水の危険性が高まる出水期前に水害対応訓練を実施しました。</p> <p>・9月に市総合防災訓練を実施しました。</p>	<p>講座を実施します。</p> <p>・未策定地区で地区防災計画を策定します。</p> <p>②引き続き関係機関と連携を行います。</p> <p>③引き続き防災訓練を実施します。</p>
熱中症や感染症に関する情報提供	<p>【健康課】</p> <p>・市HP等に熱中症予防の対策情報を掲載し、地域に保健師が出向いた際は住民に情報提供を行いました。</p> <p>・家庭訪問時は保健指導のほか、熱中症予防の啓発を行い、ハイリスクの高齢者にはチラシや簡易温度計の配布を行い啓発しました。</p> <p>【子ども家庭センター】</p> <p>・夏場を中心に、新生児訪問や乳幼児健診時に、情報提供や保健指導を行いました。</p> <p>・日本脳炎の予防のため、ワクチン接種について、対象者に個別通知を1589件行いました。</p>	<p>・様々な場所で健康教育をします。感染症については、発生状況を注視し、情報発信します。</p> <p>・引き続き情報提供や保健指導を行います。</p> <p>・日本脳炎ワクチン接種を推奨します。</p>
宗像市国土 強靱化地域 計画に基づくインフラ、ライフラインの強靱化推進	<p><発電機設備、蓄電池等></p> <p>・市役所本庁舎やユリックスの非常用発電機設備の保守点検委託を実施しました。</p> <p>・リーフやプリウス等からの電力供給を可能にし、避難所で利用できるよう整備しました。</p> <p>・避難所用蓄電池を購入しました。</p> <p><上水道等></p> <p>・耐震管を使用した水道管の整備をしました。</p> <p>・県内の水道企業団等と連携しました。</p>	<p><発電機設備、蓄電池等></p> <p>災害時の対応も想定し、引き続き非常用発電機設備の保守点検委託を実施します。</p> <p><交通インフラ></p>

	<p>< 汚水処理施設等 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水処理施設の建替（耐震構造物）のための事業計画を変更しました。 ・汚泥処理施設の耐震化方針を検討しました（ストックマネジメント計画策定）。 ・下水道老朽化施設（マンホール蓋、マンホールポンプ）を改築しました。 ・公共下水道事業計画を見直しました。 ・田島汚水中継ポンプ場の耐水化診断を実施しました。 ・現、下水道 BCP を確認しました。 ・九州地方整備局や消防等と災害時の応援協定を締結しました。 ・総合防災訓練を実施しました。 <p>< 交通インフラ ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の舗装の更新（4 箇所）や側溝等の道路施設の補修（260 箇所（工事 119 箇所、修繕 141 箇所））を実施しました。 ・橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁補修設計（4 橋）と橋梁補修工事（3 橋）を実施しました。また法定点検として橋梁点検（114 橋）を実施しました。 ・急傾斜地の崩壊や落石がないか随時巡視しました。 ・九州旅客鉄道株式会社への速やかな早期開通の要請のため日頃から連携しました。 ・道路等修繕（130 箇所）、道路側溝清掃委託（39 箇所）等を実施しました。 ・災害時に大島や地島が孤立しないよう、市営渡船（予備船）、タクシー、レンタカー事業者やコミュニティ運営協議会、漁協、消防団との連携し交通手段を確保しました。 <p>< 情報サービス ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップを改定し（データ作成）、WEB 版防災マップや 3D マップを市 HP に掲載しました。 ・防災訓練のみならず、平常時にも催事案内などの試験放送を行いました 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路修繕（150 箇所）、橋梁点検（140 橋）、橋梁補修工事（4 橋）を実施します。 ・大規模災害時の道路ネットワーク確保のため、緊急輸送道路の改良整備を進めます。 <p>< 上水道等 ></p> <p>水道水の供給機能維持のため、定期点検の継続や漏水箇所等の修繕工事の実施します。</p> <p>< 汚水処理施設等 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・田島汚水中継ポンプの場耐水化詳細設計を実施します。 ・汚泥処理施設ストックマネジメント実施計画を策定します。 ・下水道老朽化施設（マンホール蓋、マンホールポンプ）を改築します
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線や緊急情報伝達システムの更新を検討し、基本調査設計を実施しました。 ・令和 2 年度更新の新基幹系システムは、昨年同様クラウド化し回線を冗長化しました。また、リカバリサーバを準備し、ネットワーク回線被害時にも証明発行できるよう備えました。 ・災害時等に備え、セキュリティが高い基幹系システムへの移行の準備をしました。 ・市広報紙やホームページへの啓発に加え、KBC の d ボタン配信、市公式 LINE 及び X (旧 Twitter)、防災情報ダッシュボードによる災害情報や避難情報を配信しました。 ・県と連携し、Ｌアラートの訓練配信テストを実施しました。 ・防災行政無線保守の実施、総合防災訓練時のエリアメール配信試験(緊急情報達システムを使用)を実施しました。 ・災害版 GIS 活用により、災害時に必要な情報を自ら取得するため、防災講座等で自主防災組織に防災情報ダッシュボードを啓発し、関係機関に同ダッシュボード操作説明会を実施しました。 	<p><情報サービス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の保守、緊急情報伝達システムによるエリアメール配信試験、県と連携した Ｌアラート配信試験を行います。 ・LINE システム、d ボタン広報紙システムを利用します。 ・市民に、防災ダッシュボードを通じた情報を伝達します。 ・避難所の Wi-Fi 更新計画を策定します。
--	--	---



<宗像市総合防災訓練>

環境目標

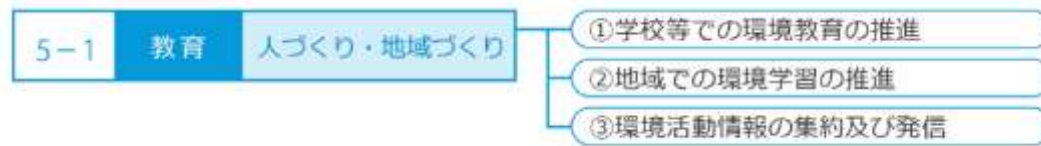
環境に関心を持ち行動する人を育てるまちづくり

■施策体系



～人づくり・地域づくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
学校等での 環境教育の 推進	体験型環境教育の推進	A(3点)	3点 (順調に進 捗してい る)
	市の特色を生かした環境教育プログラムの提供	A(3点)	
	学校授業への講師(専門家、市民、市職員等)派遣	A(3点)	
地域での環 境学習の推 進	多様な環境プログラム・教材の提供	B(2点)	2.4点 (概ね順調 に進捗して いる)
	市民を対象とした環境イベントの開催	B(2点)	
	コミュニティや公民館等での環境学習の推進	A(3点)	
	環境学習に関する情報発信の強化	A(3点)	
	将来の環境活動を担う人材の育成	B(2点)	
環境活動情 報の集約及 び発信	環境調査や環境活動に関する情報の集約と管理	B(2点)	2.6点 (順調に進 捗してい る)
	市の公式ホームページなどを利用した環境情報の発信	B(2点)	
	情報の受け手に応じた新たな発信方法の検討	A(3点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み 事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課 題など
学 校 等 で の	体験型環境 教育の推進	市内全小学校の4年生を対象とした水辺教室を実施し、 890人の参加がありました。	今後も市内小・ 義務教育学校と 連携して継続実 施していきます。
	市の特色を 生か		

環境教育の推進	学校授業への講師（専門家、市民、市職員等）派遣	市内小・中学校計3校（河東小学校、玄海・中央中学校）にて実施した出前授業（釣川・節水について、玄海の自然環境について、水と緑の会・ゴミと資源物・宗像市の環境について）に市職員などを講師派遣しました。	今後も市内小・義務教育学校と連携して継続実施していきます。
地域での環境学習の推進	多様な環境プログラム・教材の提供	宗像環境団体連絡協議会の主催で親子向けの啓発イベント（夏休み親子「川の生き物観察会」「エネルギー学習会」）を開催しました。	今後も協議会と連携して啓発事業を実施していきます。
	市民を対象とした環境イベントの開催	市内環境団体や事業者と協働して、宗像の環境を学ぶことができる環境フェスタを開催しました。 来場者数：R5年度 794 人（R4 年度 538 人）	今後も継続して実施するとともに、開催場所なども含め検討していきます。
	コミュニティや公民館等での環境学習の推進	市民団体と共催で生ごみの堆肥講座（ダンボールコンポスト講習会）を実施しました（12 回／年）。	今後も団体と連携して普及啓発事業を実施していきます。
	環境学習に関する情報発信の強化	年間を通じて市や市民団体協働で主催する事業（6 件）以外に県主催事業（6 件）について、広報紙等で周知を行いました。	今後も、随時広報紙等で発信していきます。
	将来の環境活動を担う人材の育成	市内小・中学校計3校（河東小学校4年生、玄海中学校9年生・中央中学校7年生）にて、釣川・節水について、玄海の自然環境や水と緑の会・ゴミと資源物・宗像市の環境についてをテーマに出前授業を実施しました。	今後も市内小・義務教育学校と連携して継続実施していきます。
環境活動	環境調査や環境活動に関する情報の集約と管	年間を通じて広報紙にて、井戸水調査（県事業）への協力や公害（光化学オキシダント、PM2.5 など）の注意喚起を行いました。	今後も、公害が起こりやすい時期に発信するなど発信方法等を

情報 報 の 集 約 及 び 発 信	理		検討していきます。
	市の公式ホームページなどを利用した環境情報の発信		
	情報の受け手に応じた新たな発信方法の検討	年間を通じて市や市民団体協働で主催する事業（6件）以外に県主催事業（6件）について、広報紙ほか市SNSを活用して周知を行いました。	今後も継続して周知するとともに、効果的な周知策を検討します。



<むなかた環境ミニフェスタ>

～実践のための仕組みづくり～

■施策体系



■総合評価

施策の柱	取り組み事業	事業の評価	総合評価
多様な主体との協働による施策の推進	多様な主体と連携・協働による事業の実施	B(2点)	2点 (概ね順調に進捗している)
	協働化提案制度の積極的な活用	B(2点)	
	地域の環境活動を担う人材との連携	B(2点)	

■令和5年度の実施状況

■実施状況

	取り組み事業	令和5年度の実施状況	今後の取組・課題など
多様な主体との協働による施策の推進	多様な主体と連携・協働による事業の実施	むなかた「水と緑の会」や宗像環境団体連絡協議会と協業でラブアースクリーンアップ(参加者 380 人)、釣川クリーン作戦(参加者 2,055 人)、環境ミニフェスタ(参加者 794 人)等の環境イベントを実施しました。	今後も継続して実施するとともに、イベントの周知の強化を図ります。
	協働化提案制度の積極的な活用	市内各自治会と概ね月 1 回(離島は月 2 回)実施しました。市内に 276 箇所の地域ステーションを設置しました。	継続して実施します。
	地域の環境活動を担う人材との連携	むなかた「水と緑の会」や宗像環境団体連絡協議会と連携、協業して環境活動に関する事業を実施しました。 ・ラブアースクリーンアップ(参加者 380 人) ・釣川クリーン作戦(参加者 2,055 人) ・環境ミニフェスタ(来場者 794 人)等	今後も、事業実施を通じて環境団体と連携強化を図ります。